

にらさき

第3回定例会	P2
代表質問	P4
ここが聞きたい(一般質問)	P6
第1回臨時会	P14
委員会報告	P15



第28回 国民文化祭・やまなし2013 邦楽の祭典

H25.10.20 (東京エレクトロン荻崎文化ホール・荻崎高校箏曲部)

就任あいさつ



議長
清水 一 議員



副議長
西野 賢一 議員

このたび、10月25日の臨時会において、議員各位のご推挙により、栄誉ある荻崎市議会第62代議長及び第62代副議長に就任いたしました。

この職の重要性を十分認識し、市民の皆様の負託に応えるべく努めさせていただく所存であります。

地域主権により地方議員の果たす役割は、従来に増して大きくなります。議会基本条例の施行を機に議会改革を推進すると共に、各種研修会の開催に取り組み、財政の健全化を図りつつ持続可能な社会保障を構築するため、全議員で努力をまいります。

多様化する価値観の中で、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりのため誠心誠意努めてまいりますので、市民の皆様方の厚いご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第3回定例会

平成25年第3回蕪崎市議会定例会は、9月5日に招集され、会期を9月26日までの22日間と定め審議を行いました。

今議会で審議された案件は、条例の改正や補正予算など35案件を審議し、原案のとおり可決・承認・同意等されました。

今回はじめて各会派より代表質問として3議員が登壇し、また、一般質問では9議員が登壇し市政について市長の考えをただしました。

【条例制定（一部改正）】

■ 議案第73号

蕪崎市職員給与条例及び蕪崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、災害派遣手当について所要の改正をする必要がありますので改正を行いました。

【人事案件】

以下の人事案件について同意しました。

■ 蕪崎市教育委員会委員の任命について

蕪崎市教育委員会委員の任期が平成25年10月4日満了となり、後任者の任命について市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を任命することに同意しました。

内 藤 慶 子（本町4丁目）

【補正予算】

一般会計補正予算（第2号）、下水道事業特別会計補正予算（第1号）、介護保険特別会計補正予算（第1号）、水道事業会計補正予算（第1号）が、財務常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。

おもな内容は以下のとおりです。

■ 平成25年度一般会計補正予算（第2号）

補正予算額 6,285万円

主なもの（歳出）

・ 議員報酬等	△320万4千円
・ 職員給与	△6,800万5千円
・ 財政調整基金積立金	1億5,518万7千円
・ 賦課徴収事業	85万1千円
・ 地価実勢価格調査事業	304万5千円
・ 要援護者支援事業	501万円
・ 障害者自立支援事業	433万円
・ 子育て短期支援事業	8万6千円
・ 保健対策推進事業	24万9千円
・ 医療体制支援事業	1,675万8千円
・ 火葬場運営事業	117万6千円
・ 廃棄物処理対策事業	90万8千円
・ 農業団体育成事業	115万4千円
・ 新規就農者支援事業	450万円
・ 県営畑地帯総合土地改良事業	375万円
・ 農村地域新エネルギー利活用推進事業	2,500万円
・ まちなか活性化推進事業	265万5千円

・ 道路橋梁維持事業	500万円
・ 中央公園管理事業	682万円
・ 下水道運営費	△1億475万3千円
・ 峡北広域行政事務組合負担金	459万1千円
・ 消防団運営事業	181万円
・ 小学校運営事業	49万9千円
・ 小学校施設管理事業	101万4千円

■ 下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正予算額 △475万3千円

（職員給与費及び下水道事務費の補正）

■ 介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正予算額 2,500万1千円

（職員給与費及び介護保険事業積立金並びに償還金の補正）

■ 水道事業会計補正予算（第1号）

補正予算額 972万8千円

（職員給与費及び県道新府バイパス工事に伴う補償費と委託料）

一般会計(歳出総額) 130億3千134万3千円など 平成24年度決算を認定

平成25年第3回定例会では、平成24年度の一般会計、特別会計(13会計)及び企業会計(2会計)決算について、財務常任委員会(藤嶋英毅委員長)に付託審議のうえ本会議で認定しました。決算額は以下のとおりです。

【平成24年度決算額】

(単位:千円)

		歳入	歳出	
一般会計		13,434,808	13,031,343	
特別会計	国民健康保険	3,352,054	3,252,984	
	後期高齢者医療	255,517	255,359	
	簡易水道	9,788	9,788	
	下水道事業	1,394,258	1,394,258	
	介護保険	2,053,239	2,022,778	
	介護サービス事業	10,715	10,715	
	財産区	2,234	1,969	
企業会計	市立病院	収益的	2,564,051	2,510,625
		資本的	83,018	225,502
	水道事業	収益的	834,337	823,542
		資本的	314,721	530,570

【24年度決算に伴う財務指標の報告】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行にともない、財政指標を議会に報告し、公表しなければならないこととされています。

《健全化判断基準》

()内は財政健全化計画等を策定しなければならない基準

- 実質赤字比率 黒字のため数値なし (13.64%)
- 連結実質赤字比率 黒字のため数値なし (18.64%)
- 実質公債費比率 12.0% (25.0%)
- 将来負担比率 73.3% (350.0%)

《資金不足比率》

- 簡易水道・下水道事業特別会計、病院・水道事業会計
資金不足を生じていないため数値なし (20.0%)

⇒ いずれの比率も基準を下回っており、健全な財政運用がなされています。

※決算額の詳細は、広報11月号をご覧ください。

財務常任委員会での質疑(抜粋)

〔一般会計〕

■総務費

問 滞納繰越分に係る不納欠損額が非常に大きいと思うが、不納欠損額を無くすることが出来るのか、また、滞納繰越額を減らすことが出来るのかをどのように研究していますか。

答 不納欠損額につきましては、23年度より834万8千円ほど減額しておりますが、不納欠損には、3つの条件がありまして、執行停止3年、即時消滅、5年時効消滅となります。高額滞納者を中心に滞納処分を行っております。今後も税負担の公平性を保つために厳粛な滞納処分を実施してまいりたいと考えます。

■民生費

問 ゆ〜ぶる萑崎の利用者が減っているが、理由があったのか。

答 推測ではありますが23年の東日本大震災の影響で近場での行楽を楽しんだ客層が、24年は、遠出をするようになったこと、また、12月の笹子トンネル崩落事故による影響がでているものと見られます。

問 行政評価実施事業の中

で、改善の項目の中でふれあい管理事業について来年度に反映させていると聞いたが、どの辺を改善しようとしたか。

答 新しく指定管理者になったところには、ゆるゆるの通常の営業に加え、イベントを増やし集客に努めるものであります。

■衛生費

問 母子健康診査事業、母子健康教育事業で、4ヶ月児検診などの検診や新生児訪問等により子供や母親のサポートをしていただくのは、大変ありがたいと思います。ただ、数字上100%ではないので、100%に近づけることが大事と思うがその辺のフォローはどうか。

答 出生してから市外・県外に転出される方や、外国人の方等があり、所在がわからない方がいます。追跡をして100%に近い指導やフォローを行いたいと思います。

■労働費

問 緊急雇用対策事業において総額でも個々の事業でも減額がされているがその理由は。

答 これは県の基金を使った事業ですが、事業の要件が絞られ、また、要件

のハードルが高くなったため、該当事業が少なくなり事業費が減額となったものであります。

問 山梨県の補助が減る中、市独自の雇用対策の増減はどうか。

答 市独自の雇用対策は増えておりません。

■土木費

問 都市計画道路見直し業務委託が25年度へ事故繰り越しされているが、この理由と完成予定はいつになるのか。また、道路計画はどのように考えているのか。

答 事故繰りの理由は、都市計画道路の見直しが長期間行われていなかったこと。予測交通量が策定時と大分変動していることから、見直しの選定や方向性に時間を要したためであります。

また、今年度に見直し路線を抽出し来年度新しい都市計画道路の素案を作成する予定であります。

■教育費

問 育英奨学金ですが、条例の改正に伴い大学卒業後市内に住所を有する場合は、返還の免除規定を定めましたが、今年卒業した方の中で市内に住所を有して就職した方の件数はどれくらいか。

答 現在免除の申請はありません。

代表質問

荊崎市議会では、9月議会において初めて会派別の代表質問を行いました。

宮川 文憲 議員

荊 政
クラブ



荊崎市第六次長期総合計画の見直しと今後の政策推進について

質問

高齢者人口が増え、地域を支える生産年齢人口が減少する人口構成を視野に、持続可能な社会保障・生産性の向上等、時代認識を踏まえた行政取り組みが求められます。

これからの時代を切り開く総合的な指針、戦略について。

答弁

市長

後期計画の策定にあたっては、第六次長期総合計画が定める「夢と感動のテーマシティーにらさき」を実現するための基本的方向性は継続しながら、少子高齢化の到来や、環境・防災意識の高まりなど、中間年を迎えた現在の社会情勢や、市民ニーズに的確に対応した、時代要請にふさわしい計画を策定してまいります。

荊崎市保育園再編整備計画について

質問

既に円野・旭・竜岡保育園の再編保育園第一園整備が進められておるが、今後の第二・第三・第四園の用地確保と民間活力の導入による管理運営をどう位置づけるのか。

答弁

市長

再編保育園第三園及び第四園については具体的な計画策定時には、定数に見合った用地面積の確保を検討し、民間活力の導入による管理運営は、今後「子ども・子育て会議」において議論してまいります。

生活保護について

質問

生活保護を巡る不正受給が社会問題化し、最低賃金で働いた場合より支給額が多い逆転現象が起きており、本市の24年度扶助費は141人で2億8,200万円余が支給されております。

今後生活保護受給世帯は増えるかと予測され、受給者には生活保護費は福祉の増進を図る事を目的としている事を深く自覚して頂き、パチンコ、競馬などに浪費しない規制制度の制定について。

答弁

市長

不正受給防止については、定期的な家庭訪問等により防止に努めてまいります。不正受給防止制度については、県内他市の状況を踏まえ研究してまいります。

介護保険事業について

質問

本市の24年度要介護認定者1,187人で、介護給付費は18億3,200万円余の状況にあり、毎年1億円以上増加しております。更に介護予防事業に重点を置き、健康なお年寄りを増やし、給付費を抑制する支援体制が求められるか。

答弁

市長

要介護一步手前の高齢者には、通所型や訪問型介護予防事業を行い、参加者の85%の方々から改善されたとの回答があり、また65歳以上を対象の「野筋クラブ」を各公民館で実施し運動習慣が定着し介護予防が図られていると考えております。

その他質問

■次世代自動車充電インフラ整備について

■農作物の干ばつ対策について

■減災教育について

秋山 泉 議員

共 伸
クラブ



市内を通る国道二十号線の四車線化について

質問

古くから甲州街道の宿場町として繁栄してきた本市にとって、道路網の整備は不可欠です。平成二十年以来、舟山橋北詰交差点では、交差点右折信号の設置等安全対策や渋滞緩和に取り組んでいただきました。今後抜本的な解決策として四車線化への対応が必要と考えます。

答弁

市長

渋滞解消のため、荊崎地区道路網検討会議を設置し、現況の交通分析、道路拡幅の可能性、バイパス化等協議検討をしてきました。釜無川河川敷への四車線化を要望してきましたが実現困難であることから、舟山橋北詰交差点等改良を行ってきました。それらを踏まえて今後の交通状況を勘案して、事業の必要

一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、[韮崎市ホームページ⇒議会⇒会議録検索](#)で見ることが出来ます。録画中継も配信しています。



田原 一孝 議員
[韮政クラブ]

豪雨による土砂災害対策は

質問 先般、土砂災害ハザードマップが作成された。集中豪雨や台風等、経験をしたことがない豪雨等に対応できるマップだと思いが、土砂災害警戒区域「急傾斜地の崩落土石流」により、被害がおよぶ恐れがある地域の住民に周知ができたかどうか。

答 市長 ハザードマップは、台風や集中豪雨などにより、崖崩れや土石流が発生した場合に被害を受ける恐れのある地域を土砂災害警戒区域として示し、土砂災害が予想される場合や発生した場合に、適切な行動を取っていただくために作成し、本年4月に各戸へ配布した。同時に、市ホームページや広報などに掲載し、周知を図った。今後も機会あるごとに周知を図っていく。

地域防災計画の中で指定避難場所としている

円野公民館、旭公民館・体育館、神山公民館・体育館、峡北広域の総合福祉センターは、土砂災害、洪水時には適さないことの周知は徹底したか。

答 建設課長 この避難所は、地震と洪水の場合で違っている。地域の皆さんには、研修会などの際説明しているが、今後も機会あるごとに周知を図り、知っていただくよう努力する。

産科セミオープンシステム導入状況は

質問 峡北地区導入について、どのように進んでいるのか。

答 市長 同システムは、身近な病院で妊婦健診が受けられ、妊婦の負担軽減につながることから、県から示された要件等を精査し検討を重ねてきた

が、週一回、半日のみの妊婦健診及び婦人科診療という診療内容では、女性特有のがん検診を含め、総合的に女性のニーズに十分応えることは難しいことと、多額な投資に対する効果を考えると市としてメリットは少ないものと判断し、県への推薦を行わないこととした。
なお、現在、産科開業医の市内誘致を検討しているところであるが、常勤医師による市立病院産科の早期再開について継続して山梨大学に要請を行い、妊婦はもとより女性が安心して子どもを産み育てられる環境の充実に努めていく。

いじめの状況は

質問 平成24年度のいじめの件数と、重大ないじめの状況は。

答 教育長 学校が認知した件数は、小学校310件、中学校31件。いじめの態様は、主に冷やかしゃからかい、悪口やおどし文句、嫌なことを言われるであり、次に、仲間外れ、集団による無視などであり、生命又は身体の安全が脅かされるような重大な事態に至る恐れがあると考えられるものはなかった。



守屋 久 議員
[誼政クラブ]

防災対策の検証と 災害用井戸水の確 保にかかる助成に ついて

質問 現在まで、本市での対策を講じた災害時の備蓄品等や防災施設の検証と、先ほど行われた個人所有の井戸水の無償提供と登録の呼びかけ状況さらに、水質検査などへの一部助成を考えるべきとの提案について、お示しく下さい。

答 市長 先ず、今までに対策を講じた防災備蓄品等の検証であります。備蓄品については、各備蓄倉庫に、アルファ米や飲料水、組立トイレなどを購入し、避難所生活に必要な諸物品の充足を図っております。大規模災害への対応としては、難しいかもしれませんが、引き続き、備蓄品の充実に努めてまいりたいと考えております。また、防災施設として、耐震性貯水槽を

これまで36基設置し、震災時の消防水利や応急飲料水としての備えを進めております。次に災害時応急井戸の8月末現在での申請件数は36件であります。今回の井戸水の登録は、生活用水として使用することを基本としており、水質検査や施設の一部助成については、考えておりませんので、ご理解願います。

教育関係者の実情 について

質問 学校で対応できない仕事を自宅に持ち帰って作業をするといったことが個人情報流出事故に繋がるなど、先生方の疲労も相当蓄積していると思えます。また、本来教育に携わる先生が、一部の政党にかたよった選挙活動をしていることについて、教育委員会ではどのようなお考えですか。お示しく下さい。

答 教育委員会 日頃から教職員の服務規律の確保については「24時間、365日、公務員であることを忘れずに、常に高い倫理観と使命感をもって行動すること」を掲げ、指導してきたところであ

安全・安心なまち づくりについて

質問 犯罪に強い社会を実現し、安全・安心を実感できるまちづくりのため、各種関係機関で普及啓発活動を行っています。が、本市での取り組みについてお尋ねいたします。

答 市長 まず、振り込め詐欺についての対策として、荏崎警察署と連携し、防災行政無線により被害に遭わないための注意を喚起しております。次に盗難対策について、8月と12月に消防団と荏崎警察署が主催した防犯設備アドバイザーによる住宅診断研修会が開催され、地域の人たちが、侵入犯罪被害防止対策への理解を深めたところであります。次に暴力追放運動について、荏崎警察署管内の各種団体によって組織されている暴力追放協議会において、暴力追放宣言を採択し、構成団体がそれぞれの場で活動しております。



高添 秀明 議員
[誼政クラブ]

各地区で行う事業 への補助と融資制 度について

質問 市内には100の地区があり、それぞれ地区長を中心に各種事業等を実施し、特色ある地域づくりを行っております。しかし、地域の特色を生かした祭りやイベントを実施するには経費を必要とします。

答 市長 益や正月に帰省した人達を含め地域で行う盆踊りや花火大会等のイベントを実施することは、本市の魅力を生かす絶好の機会でもあります。これらの事業も補助対象にすべきと思えます。

その他質問

- ◆農業後継者対策について
- ◆自然エネルギーと省エネ対策について
- ◆子育て支援事業について

かし祭り、中田町のほたる祭り、穴山町のさくら祭りが該当しております。お尋ねの、盆踊りや花火大会などのイベントについては該当いたしませんのでご理解願います。

質問 本市には現在11の地区公民館のほか、多くの分館が存在し、それぞれの地区に合った生涯学習を推進しています。まさに生涯学習の推進は裾野の広い活動が大切であり分館の果たす役割は重要であります。

近年、建替えを行っている地区もありますが、建替えには多額の費用がかかります。市では、この費用に対し、補助金交付要綱を定め、補助金を交付していますが規模や金額が時代に合っていないと思えます。

答 市長 本市では、市外・県外へ情報を発信し、市への誘客を促進するために開催される地域資源を生かしたイベントに対し、予算の範囲の中で補助金を交付しております。本年度は、円野町のか

答 教育委員長 地区公民館分館建設費補助金につきましては、建築面積40平方メートル以上の公民館を建設した場合に、規模に応じて280万円から390万円を補助しております。

公民館の建替えには多額の費用がかかり、大変なことだと思いますが、建替えを要する自治会におきましては計画的に積み立てを行い、建替えに備えていただきたいと考えております。

なお、利子補給制度の導入については、考えておりません。

質問 この補助金の制度を作ったのが平成8年であり、見直しを行ったのが平成13年と記憶していますが、それから見直しを行っていません。

答 公民館を建設する規模は時代に合っていない基準ではないかと思えます。

答 教育課長 議員の言われるとおり、改定から12年も経過しております。社会情勢も変わっていると思えますので、内容等課内で話し合っています。と思っています。



清水 正雄 議員
[共伸クラブ]

その他質問

◆ 葦崎駅周辺の環境整備について

葦崎駅前整備事業
見直しを求める住民の声にどう対応するか

【質問】 雨よけ屋根を設置したり、高遠コヒガン桜を処分する計画に対して「葦崎駅前整備を考える会」（清水正雄代表）が行った署名運動に対してわずか1ヶ月で742人の反対署名が集まりました。この声をどう受けとめているか。

【回答】 既に工事発注を済ませたところであり、現計画のまま事業を進めることを基本に考えています。イチヨウをわずかでも残せるよう検討致します。

【質問】 税収入が減り、財政に余裕がない中、人口対策や雇用など、他にやることはあるか。

【回答】 100%賛成の事業は不可能です。甲府、竜王、塩崎駅がきれいになっていく。葦崎駅

前は今のままでよいのか、考えなければならぬと思う。

【質問】 市民交流センターから見る富士山は素晴らしい。人工構築物で覆われてしまうと台無しになるか。

【回答】 シェルター一越しの富士山も、またひとつの景観として成り立つのでは。

整備工事の入札結果について

【質問】 雨よけ屋根及び駐輪場の工事が99・9%、歩道カラー舗装及び植栽は99・8%と落札率が高いのは。

【回答】 公正・公平を遵守することを基本に実施しています。駅前工事入札についても、正当な競争における結果であると解釈しております。

【質問】 不正行為の排除についての措置は。

の過程、内容の透明性、公正な競争、不正行為の排除を受注する側に、お願いしています。

上ノ山・穂坂工業団地の誘致状況と旧双葉町への道路新設計画について

【質問】 1区画の入居の見通しと誘致活動の内容は。

【回答】 企業立地セミナーなどに参加し、PRを行っています。関東近県の製造業約1,500社へ企業立地ガイドを送付しました。

【質問】 上ノ山地内の交通量が一段と増え、住民の不安が募っています。道路建設の見通しは。

【回答】 道路建設については、地元関係者と基本ルートについて協議させていただき、甲斐市とも協議を行うなど、事業実施に向けて検討いたします。

【質問】 計画が遅れている原因はなにか。

【回答】 地元関係者並びに当然、補助金もからんできます。

また、甲斐市との協議を含めて、今後十分検討してまいります。



輿石 賢一 議員
[共伸クラブ]

その他質問

◆ 葦崎市の防災・減災対策について

横内市長の政治姿勢について

【質問】 市長が就任当時に掲げた政策、市民との約束などで実現できたもの、実現途中のもの、実現できなかったもの、幾つかあると思いますが、お伺いいたします。

また、市長が執行しようとしている事業に対し、反対や市民感情に合わないものさえありますが、どうしてなのかお伺いします。

【回答】 平成18年の市長選挙で、政策提言した項目は38項目であり、様々な取り組みを行っても、実現できなかったものは、市立病院産婦人科の早期拡充、1項目であります。

次に、平成22年の市長選挙で、政策提言した項目は45項目であり、その内、実施に至っていないものは、まちづくり基本条例の制定など5件であります。

市民感情に合わない、逆行しているというように、事業実施はしていないと考えております。

農業問題について

【質問】 耕作の効率化を求め、圃場整備や基盤整備などが有効ととらえ、計画が進んでいるが、現在の市内での状況はどのようになっているのかお伺いします。

また、山間地や、どうしても基盤整備や圃場整備のできない地域に対する対策はどのように考えているかお伺いします。

【回答】 主な事業として、穂坂町日之城地内において受益面積50ヘクタールの畑地帯総合整備事業、円野、清哲、神山町で198ヘクタールの中山間総合整備事業、大草町西の割、町屋地内で26ヘクタールの畑地帯総合整備事業、龍岡町地内で

58ヘクタールの経営体育成基盤整備事業を実施しております。

次に、山間地などでは、農地管理の指導、担い手への農地の集積、鳥獣害防止対策の強化、新規就農者支援等を通じ、耕作放棄地の解消と拡大防止に努めてまいります。

市内の史跡について

【質問】 史跡を有効に使い、内外にPRをして、交流人口の増加にも役立たせるべきと考えますが、見解を求めます。

施設の一つであります竜岡町の将棋頭延長上の御勅使川左岸廃堤防につきましては当市の管理となつておりますが、3月議会で、周囲の景観に配慮しながら、雑木等の管理を行っていくと答弁をいただきました。

今後、どのように管理をしていくのかお伺いします。

【回答】 本年度、雑木等の伐採を実施してまいります。その後は、地域に密着したものですので、地元で日常管理をお願いしたいと考えております。



清水 康雄 議員
[共伸クラブ]

耕作放棄地の利用促進について

質問 市内の至るところに農地が手付かずの状態が放置されており、こうした土地の周辺の農業者は非常に迷惑を受けております。土地の所有者の対処について、これまでに通知し、指導を行った件数について伺います。

回答 市長 特に借り手の見込まれる優良農地区域内にある遊休農地を選定し、葦崎市農業委員会遊休農地の指導に関する手続規定に基づき指導した件数は、32件、51筆であり、そのうち解消に至ったものは、12件、24筆であります。また、昨年度において、一般市民等からの通報により農地管理の徹底を通知した件数については、50件、66筆であり、そのうち除草剤等が実施されたものは、11件、12筆となっております。

その他質問

- ◆ヒルクライム甘利山大会について
- ◆県立北病院南堤防の整備について
- ◆阿弥陀三尊の公開について

農業用水路の改修促進について

す。今後につきましても、農業委員による助言や貸付等の指導を行い、適正な農地管理に努めます。

質問 昭和25年度から昭和60年度にかけて実施した地方病予防溝渠について、老朽化が進み早急な対応が必要と思うが、その改修計画を伺います。

回答 市長 早急に改修の必要のある水路より計画的に事業実施しているところであります。本年度についても、整備延長約1km、工事費6,650万円を計画しております。また、現状の七割補助、原材料支給、農地・水・環境保全対策事業等を有効に組み合わせて、地域の方々の協力を得るとともに、国・県の補助事業を積極的に取り入れ、効果的な整備計画を進めてまいります。

保育園再編整備計画について

質問 市では、市内にある九園の保育園を四園に統合する再編整備計画に基づき、その第一園として、円野、旭、竜岡の三園を平成27年度の開園に向けて事業を進めておりますが、何といたっても一番大切なのは地元の理解ではないでしょうか。道路並びに水路問題等、建設予定地であります大草町の若尾地区に対する対応状況について伺います。

回答 市長 先般7月31日に説明会を実施いたしました。その際、再編保育園建設自体には理解をいただきましたが、道路並びに水路問題につきましては、交通渋滞の緩和策として、保育園への侵入路を拡幅改修したい旨を、また、水路への雨水の流入を現状より軽減できる工法を取り入れる旨を説明いたしました。一部住民には理解が得られていない状況であります。このほかにも幾つかのご要望をいただいたいておりますので、その内容を検討し、十分に意を尽くし、理解を求めてまいります。

循環型社会の構築について

質問 葦崎市第2次環境基本計画で策定しているリサイクルの推進とごみの減量化について、平成30年の目標値に対する具体的な取り組みは。

回答 市長 ごみの排出量、資源ごみの収集量ともに減少傾向にあり、リサイクル率については収集日を増やすなどの対策を行ったが、上がってきていないのが現状です。今後は利用しやすいリサイクルステーションの設置場所、収集日時等の検討を行い、目標値の達成に努めてまいります。

質問 本年4月より、使用済み小型電子機器等再資源化促進法が施行されたことにより、今まで大半が最終処分場に埋め立てられていたレアメタルなどを再生利用する努力義務が課せられています。本市での取り組みは。



森本由美子 議員
[公明党]

その他質問

- ◆学校での環境教育の取り組みについて
- ◆中学生のスクールバスの活用について
- ◆悪臭対策について
- ◆市立図書館と学校図書館との連携について

質問 企画財政課長 公共施設に専用の回収ボックスを設置するなど効果的な方法を検討してまいります。

質問 ゴミの中でも特に生ごみについては、燃焼率を下げる原因にもなっています。堆肥化等のリサイクルについて、どのように取り組むのか。

回答 副市長 組合を構成している3市で広域的に検討してまいります。

市民バスの運行について

質問 平成23年度より高齢者は1回100円で、土日曜日に限り全市民が1回100円で乗車できるようにになり、改定前の平成22年度と比べると、平成24年度では利用者が9,850人増え、20%増加しました。公共交通の充実が葦崎市を活性化させ、経済も活性化させていくものと考えます。全市民が1回100円で

葦崎市立図書館の運営について

質問 各種割引制度の導入により、収益率は6.2ポイント減少した。今後、公共交通の充実については、高齢者等の交通弱者対策として総合的に研究してまいります。

質問 開館時間について、平日は午前10時から午後7時、土日祝日は午前9時から午後5時となっておりますが、勤労者や学生などから開館時間の延長を希望する声があります。が、予定は。

回答 教育長 指定管理者とともに検討してまいります。



小林恵理子 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆再編保育園での保育サービスについて
- ◆消費税増税の実施中止について

高い国保税の引き下げを

【質問】市は、12年度、国保税の大幅な引き上げを行った。1世帯当たり2万8,000円の負担増です。値上げ幅を抑えるため、一般会計から8,000万円の繰り入れを計上。しかし、決算ではこの繰り入れは全く必要なく、2,062万円の基金積み立てもしている。高い国保税に苦しむ市民の納得を得られるものではない。払える国保税に引き下げてほしいと言っているのが多くの市民の願い。一般会計からの繰り入れで、国保税の引き下げを行うべきです。

【答】市長 一般会計繰り入れは、保険給付費等に対し不足する国保税を補填する財源。昨年度は、医療費が見込みより低く抑えられ、一般会計の繰り入れは行ってない。今

後も医療費等が増大すると見込まれ、国保税引き下げは、難しい。

深刻な雇用状況 積極的な対策を

【質問】雇用状況は深刻。雇用と賃金、暮らしを支援する労働行政推進が望まれる。どう実態調査し、把握しているか伺います。専門部局を設置し、職業斡旋事業、雇用・労働に関する相談窓口を設置することが必要です。失業者数など実態調査、事業所へのリストアップ・解雇の把握。新卒・青年雇用の支援、雇用環境など企業の雇用意識の啓蒙などに取り組むべきです。

【答】市長 市内企業への訪問、県・ハローワークの情報提供で、実態把握に努め、雇用環境等の対策も連携を図り対応。専門部局設置は考えてない。

学童保育の充実と 穂坂小こども教室を 独立した施設に

【質問】穂坂小学校の放課後子ども教室は、学童保育とは異なる補助事業ですがその実態は、学童保育そのものです。体育館の一部を利用した現状の教室から、「生活の場」としてふさわしい独立した施設の整備を行うべきです。

【答】教育委員会 穂坂小では、「放課後児童クラブ事業」と「放課後子ども教室」を連携した総合的な事業として実施。施設は、体育館3階ティング室を中心に活動を始めたところで、児童の遊びの場、学習の場等の活動時間を学年ごとにすすらすことで、十分に施設を有効活用できているので、独立した施設の整備は考えてない。

「生活扶助」基準 額引き下げについて

【質問】安倍内閣は、食費や光熱水費など日常の暮らしに欠かせない生活扶助費の基準を、今年8月から3年かけて引き下げることを決定しました。今回の削減は過去に例は見えないものと言われており、25年度予算で、1.56%、総額150億円の減額、14.15年度にも引き下げられ最終的に計6.5%、670億円の減額となります。減額対象は、受給世帯の96%にのぼるといわれております。厚生労働省の試算では、夫婦と子供4人世帯で月7千円の減額、また9月4日付、山日新聞では、夫婦と長女3人世帯で月4千円減額で、「生活は苦しくなる」との事例がありました。影響は、受給者にとどまりません。就学援助、



藤嶋 英毅 議員
【経世クラブ】

その他質問

- ◆地元農産物の販売所の設置について
- ◆釜無川河川敷雑木の伐採について

個人住民税の非課税限度額の算定、保育料や医療・介護の保険料の減免制度など少なくとも40に及んでいるといわれております。「健康で文化的な生活を保障するものではないと思うが、所見は。」

【答】市長 生活保護世帯の影響につきましては、世帯構成や年齢により増減がありますが、健康で文化的な生活は保障されていると理解しております。

社会保障制度改革 国民会議の報告書（改悪報告書）について

【質問】最終報告書（改悪）の主な内容は、子育てで保育への公的責任を投げ捨てる新システム推進。規制緩和による保育の質の引き下げと株式会社参入を拡大する「待機児童解消加速プラン」の推進。

医療Ⅱ▼70〜74歳の患者負担現行1割を、新たに70歳になった人から2割とする。▼入院時の給食の患者負担引き上げ。▼紹介状のない患者が大病院を外来受診した際、一定の定額負担を創設。▼病院や施設から在宅への「移動」を推進。介護Ⅱ▼要支援1・2を保険給付の対象から除外。市町村の裁量任せでサービスの質・量が保障されない地域包括推進事業（仮称）に段階的移行。年金Ⅱ▼支給額を減らすマクロ経済スライドを毎年実施。▼支給開始年齢のさらなる引き上げを中期的課題とし、検討作業を速やかに開始。

右に関する所見は。

【答】市長 今回の社会保障制度改革の目的は、現在わが国がおかれている少子高齢化の進展など、社会経済情勢を見据えた中で「自助・共助・公助」の適正なバランスの下、将来にわたって安定的、かつ継続可能な社会保障の仕組みを構築するための改革であると認識しております。今後市民福祉の向上に向け、地方自治体の職責を着実に果たして参る考えであります。

請願

☆30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持、国における教育予算の拡充について意見書の提出を要請する請願。

採択

〈意見書の提出〉

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣及び総務大臣に対し、以下を求める意見書を提出しました。

- 1 少人数学級を推進すること。
具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に還元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

☆「取調べの全過程の可視化を求める意見書」の採択を求める請願書

速やかな取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の実現を推進することを求める請願。

採択

〈意見書の提出〉

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣及び法務大臣に対し以下を求める意見書を提出しました。

市民が刑事裁判手続に参加し、裁判官とともに被告人を裁く裁判員裁判が開始されました。このため、裁判で供述調書の任意性や信用性が争われたような場合でも、裁判員がその判断に窮することのないよう、適切な方策が講じられなければならない。取調べをすべて録画することで、取調べの状況が検証可能となり、これにより初めて裁判員が供述調書の任意性や信用性の判断を容易に、かつ正確になし得るようになる。

以上のとおり、速やかに取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の実現を推進することを求めるものである。（意見書概要）

☆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

地方財政計画、地方交付税総額の拡大及び地方税財源の充実確保・強化を求める請願。

採択

〈意見書の提出〉

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）及び経済産業大臣に対し、以下を求める意見書を提出しました。

公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、2014年度の地方財政計画、地方交付税総額の拡大及び地方税財源の充実確保に向けて、政府に対策を求めるものである。



陳情

☆森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書の提出について

「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を求める陳情。

採択

〈意見書の提出〉

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣及び経済産業大臣に対し、以下を求める意見書を提出しました。

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

平成25年第3回定例会議決結果一覧表

(野口弘明議長を除く)

○賛成 ●反対

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	輿石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	清水一	結果	
議案第69号	平成25年度葦崎市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
議案第70号	平成25年度葦崎市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第71号	平成25年度葦崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第72号	平成25年度葦崎市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第73号	葦崎市職員給与条例及び葦崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	葦崎市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
認定第1号	平成24年度葦崎市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	認定
認定第2号	平成24年度葦崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定第3号	平成24年度葦崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定第4号	平成24年度葦崎市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	平成24年度葦崎市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	平成24年度葦崎市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定第7号	平成24年度葦崎市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第8号	平成24年度葦崎市第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第9号	平成24年度葦崎市第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第10号	平成24年度葦崎市第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第11号	平成24年度葦崎市旭山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第12号	平成24年度葦崎市八森恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第13号	平成24年度葦崎市戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	輿石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	清水一	結果	
認定第14号	平成24年度韮崎市青木御座石財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第15号	平成24年度韮崎市国民健康保険韮崎市立病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第16号	平成24年度韮崎市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第25-3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第25-4号	「取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の速やかな実現」を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第24-2号	「取調べの全過程の可視化を求める意見書」の採択を求める請願	市議会会議規則第15条による処理																みなし採択	
請願第25-5号	地方財政の充実・強化を求める議会意見書の提出に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第4号	取調べの全過程の可視化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第6号	森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成25年第1回臨時会議決結果一覧表

○賛成 ●反対 / 議長のため採決なし

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	輿石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	清水一	野口紘明	結果
議案第75号	韮崎市消防団の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	韮崎市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	韮崎市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	同意
選挙第5号	峡北広域行政事務組合議員の補欠選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選
選挙第6号	峡北地域広域水道企業団議員の補欠選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選
選挙第7号	山梨県後期高齢者医療広域連合議員の補欠選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選

第1回 (10月)

臨時会

臨時会が10月22日召集され、地方自治法の規定により25日までの会期4日間で審議がおこなわれました。

提出された案件は2件で、正副議長の改選が行われ、新議長に、清水一議員、新副議長に、西野賢一議員が当選しました。追加案件として、監査委員の選任、広域関係機関の議員補欠選挙、常任委員会や議会運営委員会等の委員構成などを行いました。

【条 例】

(全部改正)

■ 韮崎市消防団の設置等に関する条例について

消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行う必要があるため条例を全部改正した。

(一部改正)

■ 韮崎市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について

福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行う必要があるため一部改正した。

【人 事】

■ 常任委員会委員並びに議会運営委員会委員の選任

下記のとおり選任されました。

■ 韮崎市監査委員の選任

一木長博監査委員の辞任に伴い、後任者の選任について、市長より同意を求める提案がされ、次の議員を選任することに同意しました。

野口 紘明 議員

【選 挙】

■ 議長選挙 清水 一 議員

■ 副議長選挙 西野 賢一 議員

■ 峡北広域行政事務組合議員の補欠選挙 高添 秀明 議員 野口 紘明 議員

■ 峡北地域広域水道企業団議員の補欠選挙

守屋 久 議員 清水 康雄 議員
岩下 良一 議員 小林恵理子 議員

■ 山梨県後期高齢者医療広域連合の補欠選挙 田原 一孝 議員

常任委員会等委員構成

平成25年10月25日就任

■ 総務教育常任委員会

政策秘書課、総務課、企画財政課、会計課、議会事務局及び教育委員会の所管する事項並びに他の委員会に属さない事項

委員長 輿石 賢一
副委員長 守屋 久
委員 清水 一
// 森本由美子
// 西野 賢一
// 清水 康雄

■ 市民生活常任委員会

市民課、税務課、収納課、福祉課、介護保険課、保健課、静心寮及び市立病院の所管する事項

委員長 田原 一孝
副委員長 宮川 文憲
委員 小林恵理子
// 一木 長博

委員 藤嶋 英毅
// 秋山 泉

■ 産業建設常任委員会

環境課、農林課、商工観光課、建設課及び上下水道課の所管する事項

委員長 小林 伸吉
副委員長 高添 秀明
委員 清水 正雄
// 野口 紘明
// 岩下 良一

■ 財務常任委員会

予算、決算に関する事項

委員長 一木 長博
副委員長 小林 伸吉
委員 小林恵理子
// 清水 正雄
// 藤嶋 英毅

委員 森本由美子
// 岩下 良一
// 秋山 泉
// 輿石 賢一
// 田原 一孝
// 清水 康雄
// 高添 秀明
// 宮川 文憲
// 守屋 久

■ 議会運営委員会

議会運営及び議長の諮問に関する事項

委員長 藤嶋 英毅
副委員長 田原 一孝
委員 小林恵理子
// 清水 正雄
// 野口 紘明
// 森本由美子
// 宮川 文憲

委 員 会 活 動 報 告

総務教育常任委員会

【9月定例会会期中の委員会】

○議案第73号

■ 葦崎市職員給与条例及び葦崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
 〓 原案可決

《請願審査》

○請願第25―3号

■ 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
 〓 採択

○請願第25―4号

■ 取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の速やかな実現を求める請願書
 〓 採択

○請願第25―5号

■ 地方財政の充実・強化を求める議会意見書の提出に関する請願書
 〓 採択

○請願第24―2号

■ 「取調べの全過程の可視化を求める意見書」の採択を求める請願書
 〓 みなし採択

市民生活常任委員会

【9月定例会会期中の委員会】

《請願審査》

○請願第25―6号

産業建設常任委員会

《現地視察》

○8月25日

■ 穂坂地区等水不足状況視察
 市内の水田の水不足について、その状況を把握するため視察を行った。農林課より説明を受けながら干ばつによる水田の様子を確認した。

■ 医療費助成制度窓口無料化に伴う国民健康保険国庫負担の減額廃止の意見書提出を求める請願
 〓 継続審査



○10月17日

■ 台風26号被害状況視察

■ 台風26号による暴風のため、倒木及び果樹農家への被害があり視察を行なった。過去最大規模の暴風による上の山地区及び旭地区のリンゴの落果被害の状況を確認した。



【9月定例会会期中の委員会】

《陳情審査》

○ 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の提出に関する陳情
 〓 採択

議場を見学しました

10月4日穂坂小学校の3年生が、社会科見学の一環として市役所内を見学。その際、市議会の議場を見学しました。

子どもたちは、議長席に順番にすわり、その議場の大きさを体感していました。



ヒルクライムチャレンジシリーズ 2013 葦崎甘利山大会が開催されました

昨年に続きヒルクライム葦崎甘利山大会が11月10日に開催され、甘利山の山頂までの山道を自転車に登る331名のライダーが健脚を競いました。

会場では、小学校2年生以下のちびっこ自転車レース、葦崎にらの会の「にらまん」、市内の女性団体による米粉のすいとんやおでん、ドーナツを「おもてなしランチ」と称しての販売等のほか、国文祭のまちなかステージとして、歌手の伸太郎さんや金川の森プラスクインテットなどの皆さんが音楽のパフォーマンスを披露してくれました。



編集後記

10月臨時議会の委員
会選任により私たちは、
今回より新たに「議会
だより編集委員」とな
りました。9月には、
初めて代表質問を行う
など、議会改革も進ん
でおり、議会の内容な
どもなるべく分かりや
すく掲載するように努
めてまいります。
市民の皆様におかれ
ましては、今後ともよ
ろしくご指導いただけ
ますようお願い申し上
げます。

年末を控え何かとお
忙しい時期を迎えます
が、健康にご留意して、
輝かしい新年をお迎え
ください。

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 清水 一 |
| 副委員長 | 西野 賢一 |
| 委員 | 一木 長博 |
| " | 藤嶋 英毅 |
| " | 興石 賢一 |
| " | 小林 伸吉 |
| " | 田原 一孝 |

- | | |
|--------|------------------------|
| 12月 5日 | 開会
諸報告
市長所信表明 |
| 16日 | 一般質問 |
| 17日 | 一般質問 |
| 18日 | 議案審議
財務委員会
常任委員会 |
| 19日 | 議案審議 |
| 24日 | 委員長報告
閉会 |

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。

※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

12月定例会日程〈予定〉